

# 35 旧小西家住宅



設計：不詳  
施工：不詳  
竣工：主屋 江戸末期（19世紀半ば頃）  
構造：主屋 木造（2階）  
納屋 木造（平屋）  
土蔵（5棟） 木造（平屋または2階）  
所在地：北区淡河町木津字室ノ下



北区淡河町木津に位置する近世和風の農家住宅です。木津地区は淡河盆地の東端に位置し、東西に流れる淡河川の左岸側の河岸段丘状を中心に民家が点在する散村的な集落景観を有しています。

旧小西家住宅は地域の幹線道路である県道38号線に接し、淡河盆地の中心部や木津地区の玄関口となる立地にあります。主屋を中心に納屋と複数の土蔵及び石垣等で構成されており、淡河町で最大級の屋敷構えです。周辺からの視認性も良く、その大きな屋敷構えと簡素ながらも気品のある意匠が特徴的な地区の歴史的な景観資源の一つです。

